使用方法

インテリジェント呼気アルコール検知機

DS-MDA001



ご利用の前に

本項は、本製品を正しくお使いいただき、操作上の危険や物理的損害の発生を未然に防止することを目的としています。 本製品をお使いになる前に、製品取扱説明書をよくお読みになり、大切に保管してください。

概要

本説明書は、呼気中アルコール検知機について適用するものです。

本説明書は、呼気中のアルコール濃度を測定する「呼気アルコール検知機」の使用方法を説明しています。

表示の説明

表示	説明
⚠説明	「本文の補足や説明を示すこと」を示します。
⚠注意	「取扱いを誤った場合に、人が軽傷を負う可能性、物的損害が発生する恐れがある事」 を示します。
⚠警告	「取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。

一、安全上のご注意

※充電中および使用中には、国および地域の電気安全に関する規制を厳守してください。

※充電時、必ず製造元付きのアダプターをご使用ください。

※機器に不具合があった場合、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。ご自分で分解、修理、改造はしないでください(個人的な分解、修理、改造による問題については、承認されないため、 当社は責任を負いかねます)。

※使用しないときは、磁気の干渉を受けたりしないでください。使用しないときは、振動や衝撃を受けやすい場所に置かないでください(無視すると、アルコール検知機を破損する恐れがあります)。 ※高温、低温、高湿度環境では使用しないでください。具体的な温度と湿度の要件については、呼気アルコール検知機の製品仕様表に参照してください。

※使用しないときは、飲酒検知機をぬれたり、湿度の高い場所に置かないでください。

※直射日光の当たる場所、ヒーターやラジエーターなどの熱源の近くには置かないでください (無視すると火災までに至る恐れがあります)。

※すべてのパスワードおよびその他の関連する製品のセキュリティ設定を適切に行い、ユーザー名 およびパスワードを安全に保管することは、お客様の責任であることをご理解ください。

※道路交通法第65条第1項 「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と遵守事項が 定められています。本製品は、飲酒後、運転の良否を判断するために使用されるものではありません。 ※本製品の測定結果のみで、運転の可否を判定しないでください。本製品の使用を動機とするアルコ ール影響下の交通事故・飲酒運転(道路交通法違反)について、一切の責任を負いません。飲酒され た場合、たとえ少量であってもその後の運転は、絶対にお止めください。

※運行管理・教務管理に使用される場合、本製品の測定結果のみに依存した運用は極力さけてくださ

い。本製品の使用によるトラブルに対して、一切の責任を負いません。

※本製品は、精度が正しく維持された状態でご使用いただく為、定期的に有料点検をしてください。 ※人間の呼吸には若干の発酵ガス(胃及び腸等から排出されるガス)が含有されていますので、飲酒 していなくても検出する場合があります。又、アルコールガス以外のガスでも動作することがありま す。

※本製品は人命にかかわるような状況の下で使用する事を目的として設計、製造されたのではございません。本製品の使用による人身事故や火災ならびに社会的な損害などが発生しても一切の責任は負いません。

※性能向上のため予告なしに製品の仕様・デザイン等を変更する場合があります。取扱説明書は印刷ものですので、製品の色など実際の色と異なる場合があります。この取扱説明書記載内容は 2022 年5 月現在のものです。

二、同梱物一覧表

No	名前	数量	単位	備考
1	アルコール検知機(バッテリー含む)	1	台	-
2	専用マウスピース	20	本	使い捨てなので、切れた後の再購入が必要です
3	熱感ロール紙	2	個	上記同様
4	アダプター	1	個	-
5	USB	1	本	-
6	取扱説明書	1	₩	-

三、接続可能な顔認証ターミナル(別売)

K1T671TM-3XF

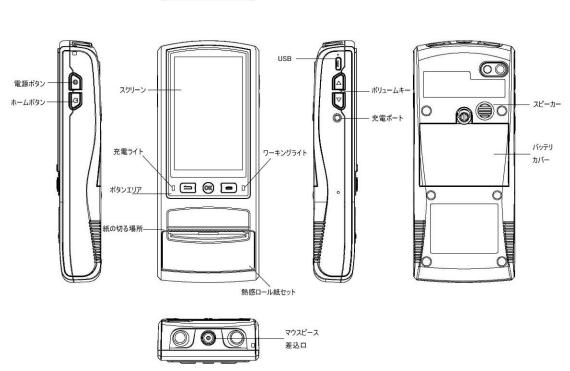


DS-K1TA70MI-T



四、各部の名称





五、バッテリーの取り付け方法

大容量リチウムバッテリーの取り出しに対応しています。

STEP1:バッテリーカバーのネジを緩めて、バッテリーカバーを外します。

STEP2:バッテリーの端子を機器のバッテリープラグに合わせ、電池バッテリーを挿入します。

STEP3:バッテリーの周りを軽く押し、バッテリーカバーを閉じ、ネジを締めてください。

⚠説明

長期間使用しないときは、バッテリーを取り外してビニール袋に入れ、バッテリーの端子に金属触れてショートする事を防止してください。取り外したバッテリーは、本体と一緒に製品箱に入れ、取り出しやすくしてください。

六、充電について

STEP1:専用アダプターのプラグを 100-240V のコンセントに差し込みます。

STEP2:アダプター出力端子の DC コネクタを機器左側面の充電コネクターに差し込みます。

⚠説明

充電インジケーターは、赤色が充電中、緑色が満充電を示します。 オフの状態では、通常 2 時間程度で満充電になります。

アダプターを機器の充電口に差し込んでも、機器の赤色充電インジケーターが点灯しない場合は、充電電圧の異常(高すぎる、低すぎる、電圧がない)、メインバッテリーが装着されていない、またはバッテリーの内部温度が 0°C~45°Cを超えていることを示し、この場合は、機器の充電保護回路が稼働しており、しばらく静置させてから充電してください。

必要ではない場合は、電源を切る状態で充電してください。

アダプターのラベルに記載されている入力電圧と電流を満たさない主電源ソケットに、アダプター を接続しないでください。

製造元付きではないアダプターを使用しないでください。

機器や電池を日光に当てたり、火に近づけたりしないでください。

廃棄のバッテリーは専用のリサイクルボックスに捨ててください。

七、熱感ロール紙の取り付け方法

STEP1: 熱感ロール紙カセットカバーを勢いよく上に持ち上げます。

STEP2: 熱感ロール紙の一部を引き出し、下図のように「√」で熱感ロール紙カセットにセットします。

STEP3: 熱感ロール紙カセットバーを「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



八、スタート及びシャットダウンの操作方法

8-1.スタート

電源が切れている状態で、本体右側面の電源ボタンを長押しすると、「ジャーン」という音が鳴り、 画面のバックライトが点灯し、電源オン画面が表示されます。

本機のタッチパネルが目に見える傷がついたり、タッチパネルが破損したりすることがないよう、指 にみでたたき、鋭利なものや金属製のものでたたないでください。

8-2.シャットダウン

本体の電源を入れた状態で、本体右側面の電源ボタンを3秒間長押し、表示された「電源を切る」をクリックします。

九、マウスピースの装着について

マウスピース差込口は、アルコール検知機の真ん中にある穴となります。マウスピース差込口に、マウスピースを組み付けます。



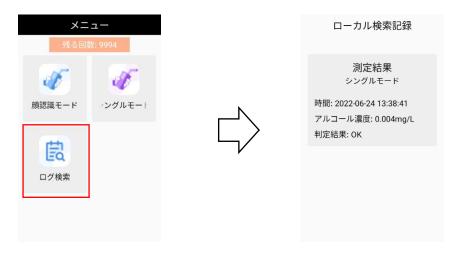
十、計測の操作方法

10-1.シングルモード

10-1-1.「アルコール測定」アプリを開き、右上の「シングルモード」を選択し、シングル使用の画面に入ります。一定の強さで息を吹き込んでください。息を吹き込むと、「ピピピピ」という音が流れますので、約5秒後に「カチッ」っとすると、測定が終わり、測定結果が出た後、この結果を印刷するかを選択できます。



10-1-2.測定終了後、「ログ検索」に、ログの検索ができます。本体のエクスポートは不可能となります。

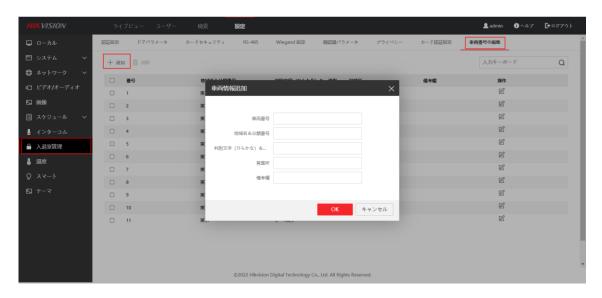


10-2 顔認識モード

10-2-1.既存顔認証ターミナルの場合、先ず、アルコール検知用のファームウェアにアップグレード してください。アップグレード完了後、顔認証ターミナルのウェブ端に登録し、「すべて復元」を選 択してください。人員データを失わないよう、「すべて復元」の前に、人員データを一回エクスポー トし、デバイスをアクティブした後、再導入をおすすめします。



10-2-2.顔認証ターミナルのウェブ端に登録し、「入退室管理」→「車両番号の編集」→「追加」の順番で、車両番号の登録ができます。(最大 50 台までです)



10-2-3.顔認証ターミナルに「表面温度測定のみ」機能を OFF にしてから、「アルコール検知有効化」のボタンを ON にしてください。

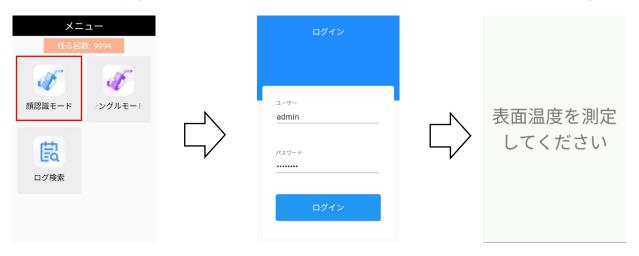


10-2-4.USB ケーブルで顔認証ターミナル及びアルコール検知機に接続してください。

(K1T671TM-3XF にて例とされます。)



10-2-5.「アルコール測定」アプリを開き、左上の「顔認識モード」を選択し、顔認証ターミナルと連動のモードに入ります。ユーザー及びパスワートを入力し、ログインし、「表面温度を測定ください」の画面に入ります。(ユーザー及びパスワートは顔認証ターミナルと一致する必要があります)



※顔認証ターミナルと接続しない場合、またはアルコール検知機に登録されていない場合、顔認証ターミナルに「アルコール検知機接続異常」があります。



10-2-6. 顔認証ターミナルで温度を測定してから、車両の「出帰」状態を選択し、車両番号を選択してください。(車両番号登録されていない場合、この操作を飛ばします)

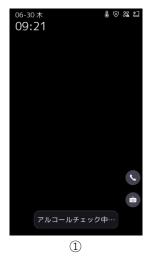






10-2-7.車両番号を選択した後、顔認証ターミナルに「アルコールチェック中…」が表示され、アルコール検知機に「表面温度を測定ください」の画面は「アルコール測定」となり、アルコールの測定ができます。一定の強さで息を吹き込んでください。息を吹き込むと、「ピピピピ」という音が流れますので、約5秒後に「カチッ」っとすると、測定が終わり、測定結果が出た後、この結果を印刷するかを選択できます。

測定結果印刷を選択後、顔認証ターミナル側は、アルコールの測定結果も同時に表示されます。(青色: $0.000 \, \text{mg/L} \le 20.010 \, \text{mg/L}$ 、黄色: $0.010 \, \text{mg/L} < 20.150 \, \text{mg/L}$ 、赤色:測定結果 $\ge 0.150 \, \text{mg/L}$)















黄色&赤色の表示か下記となります:





※吹き込みの時間は5秒以下の場合、「呼気時間のボリュームが小さすぎる」という画面が表示され、 吹き直してください。



※45 秒内で吹き込まないと、「表面温度を測定ください」の界面に戻りますので、再度温度を測定してから、吹き込んでください。吹き込み表示カウントダウンが開始してから 45 秒の間、温度の測定

はできませんので、ご注意ください。



10-6.測定の結果は、顔認証ターミナル側のログで確認可能、尚、USB にエクスポート、PC にてチェックできます。



